

いけばな小原流

■財団概要

一般財団法人小原流

理事長 小原規容子

〒107-8607 東京都港区南青山 5-7-17

<https://www.ohararyu.or.jp/>



五世家元 小原宏貴

■なぜ作品を展示するのか

- ・小原流三世家元の小原豊雲は戦後、焼夷弾の油がかかって焼け焦げたいちじくの幹や枝、瓦礫の中に咲き残る花や葉を使ったいけばなを展示し、日本国民に明るい希望や、強烈な生命力を表現しました。現在コロナ禍で苦しむ日本に多くの企業様とともに再び明るい希望や生命力をお届けしたいと考えております
- ・日本全国、世界に向けての起点の地である東京駅から、ご協賛企業様と共に植物の力で東京駅から人生の新しい出発をする人、東京で新生活のスタートをきる人に向けてエールのメッセージを送るような作品を展示します。
- ・日本の四季の美しさと生け花という伝統文化の魅力を改めて再発見していただくような展示を行います。(訪日外国人には発見していただきます)
- ・コロナ禍で苦しむ花卉業界に対して花材を使用することで応援のメッセージを発信します。

■何を展示するのか

- ・人々の心の中にある「心のふるさとの森」を小原流の伝統的な表現の一つである「大写景」を用いて表現し、見る人に離れた故郷への望郷の念や、心の繋がりを思い出させるような作品を展示いたします。
- ・16日 11時～15時に公開制作を実施します。

* 展示スペース SQUARE ZERO について

2020年8月、JR 東日本最大の商業施設「グランドスタ東京」開業とともに、東京駅に誕生した新たなシンボル。東京駅初となる吹抜空間で、日本全国のヒト・モノ・コトを結び付け、新たな価値を生み出し発信するスペースです。

いけばな小原流について

いけばなの歴史は室町時代に華道池坊が成立した頃まで遡りますが、小原流が誕生したのは明治時代、「たった」百数十年前のことです。しかし400以上あるといういけばなの流派の中でも、小原流は池坊、草月流と並び、いけばな三大流派の一つとして知られるほど、大きな流派となりました。盛花(もりばな)の創始により、小原流は広く大衆に支持を受けるようになり、その後もいけばなの集団授業や女性への教授職の開放をいち早く始めるなど、その時代に合った感覚を取り入れて発展してきました。現在は国内に146支部、海外に66支部があります。

■取材依頼・本件に関するお問い合わせ先■

一般財団法人小原流広報課 担当者名:川村

TEL:03-3499-1200 Email:kawamura@ohararyu.or.jp

コメントの追加 [A1]: イベントの見所や楽しみ方を書いてください。過去にも同様のイベントを開催していたら、そのときの様子や実績もご記載いただくと、より伝わりやすくなります。

例) 昨年は〇〇万人の来場がありました

例) 今年は〇〇〇を実施します